

キャラクター名	プレイヤー名
レヴィアータ・クシャナ	

メインクラス	ナイト	Lv.1:	ウォーリア	レベル	12
サポートクラス	サロゲート	Lv.1:	モンク	性別	女
称号クラス				年齢	16
種族	エルダナーン			境遇	没落
出自(効果)	魔術師			目標	復讐

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	23	9	18	10	9	26	9
ボーナス	7	3	6	3	3	8	3
クラス修正	2	2	1	0	0	2	1
他修正							
能力値	9	5	7	3	3	10	4

HP	134
MP	111
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	召喚具：フラガラッハ[1/両/8]	至近	-1	21	0	0	0	-1	0
左手	ボーンシールド		0	0	0	8	0	-2	0
頭部	ゴールドヘルム				-1	6			
胴部	マジカルチェイン					8	5		
補助	バトルバックラー		2			7			0
装身具	フィアターズジュエル								
能力値			5	0	7	0	10	10	14
スキル				9	1				6
その他				2	2				15
総計(右)			6	32					
総計(左)			7	11	9	29	15	7	35
総計(両)									m
ダイス数			4 d	5 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
小型ハンマー	
くさび*10	
HMPP*10	
EXHPP*1	
EXMPP*1	
勇気のホイッスル	
名馬	
異次元バッグ	
免罪の証	

現在重量：	33	所持金：	73380	預金・借金：	
最大重量：	71				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フォティテュード	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：作成時に最大MP+5								
バッシュ	5	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果：武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
ボルテクスアタック	★	-	効果参照	-	自身	自動		シナリオ1回
効果：武器攻撃と同時使用。対象を※単体に変更。ダメージに+[CL*10]								
エナジーフロウ	5	効果参照	ダメージロール直前	-	自身	自動		
効果：[SL*5]以下の任意のMPを消費し、同値だけ武器攻撃のダメージを増加								
エナジースクイズ	3	-	エナジーフロウ	-	自身	自動		
効果：エナジーフロウの効果ダメージ+消費MP*2に変更								
アタックハイロウ	5	10	セットアップ	視界	場面(選択)	自動		召喚具装備
効果：自身を対象にできない。魔術を使用し、ラウンド中、対象の攻撃のダメージに+[SL*3]								
ディバインコール	3	6	セットアップ	-	自身	自動		
効果：プリプレイで選択した召喚具を装備する								
チェンジコール	★	6	イニシアチブ	-	自身	自動		
効果：選択した召喚具を装備する								
レボレイション	1	-	メジャー	-	自身	自動		シナリオSL回
効果：GMに直接質問する								
アポスル：ソード	3	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：「種別：長剣・短剣・両手剣」装備中、武器攻撃のダメージ+「SL*3」								
アームズマスター：召喚具	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：「種別：召喚具」による武器攻撃の命中判定+1d								
ハイロウコール	★	4	セットアップ	-	自身	-		
効果：ディバインコールを使用する。さらに、○○ハイロウを1つ使用する。								
ラッシュ	★	6	効果参照	-	自身	自動		
効果：白兵攻撃と同時使用。白兵攻撃のダメージに+[移動力]								
ライディング	★	-	パッシブ	-	自身	-		騎乗中
効果：命中判定と回避判定に+1d								
ストラグルクラッシュ	★	12	メジャー	-	自身	自動		部位：両 装備
効果：対象を※単体に変更。同一対象にバッシュによる2回攻撃を行う。1回目が命中しなければ2回目は攻撃できず、2回目のダメージロールに+2d								

グランフェルデン大神殿に勤めるアコライト(神官)であり、修行僧兼武装僧兵の少女。口数が少なく、態度が素っ気ないことから誤解を生みがちだが、生来穏やかで優しい心根の持ち主であり、特に身寄りのない子供には、過去の経験から自分を重ねてしまい、見返りを求めずに助力しようとする傾向がある。

エルダナーンとしては非常に小柄な体格ながら、先天的な飲み込みの良さやたゆまぬ努力により、種族による肉体的不利を超えた、優れた白兵戦闘術を發揮している。

その生まれは、古くからグランフェルデン王家に仕えている、二つの宮廷魔術師の一族の片割れであるクシャナ家の長女であり、本来であれば7年ほど神殿で修行を行い、それを終えた後に本家へ戻り一族の秘技を継承するはずであった。ところが、今から遡ること5年前。ちょうど、彼女が神殿での修行をあと一月で終えようというときに、当時のクシャナ家当主であった彼女の父親が王家に対する反逆罪で捕らえられるという事件が起きてしまう。

クシャナ家は取りつぶしとなり、その財産は、一族の研究成果もともももう一つの宮廷魔術師の家系であるシャバラヤ家に接収、当主及びその妻、長男は死罪が課せられ、唯一レヴィだけが、当時神殿預かりであったこと、また家督の継承権を持たないことにより罪を問われずにすむこととなったのである(彼女の髪が灰色にさせたのはこの事件が切っ掛けである。本来クシャナ家一族は白金色の髪であり、彼女も生来はそうであった)。

罪を問われなかったとは言っても、無論ながらクシャナ姓を名乗ることは禁じられており、事件以前から彼女を知る者や一部の関係者以外は彼女のフルネームや出生について知っているものはいない(一般的にはレヴィ、あるいはレヴィアータと名乗っている)。また、二度と魔術を行使用することができないよう、シャバラヤ家の魔術師によって魔力を封じ込める呪具のチョーカーを身につけさせられている(当然、本人には外すことはできない。=事実上、社会的、能力的に殺されたことと同義である)。

この一件を巡っては、当時王家で絶大な権力をふるっていた宰相がヒューリン至上主義者で、エルダナーンの一部であるクシャナ家が宮廷内で大手を振って歩いていることを快く思っていないかつ、古くからクシャナ家とシャバラヤ家は、表向き協調姿勢は見せていても水面下では覇を競い続けていたこと(これらはもはや王国内では公然の秘密であった)などから、シャバラヤ家と宰相による陰謀論がまことしやかに囁かれており、幼少期に宮廷内の内情を知っているレヴィ自身もそれを信じていない。

クシャナ家当主反逆事件以降、彼女は正式に神殿の所属となることとなった。表には出さないが内心ではいずれシャバラヤ家と宰相に報いを与えてやると固く決意しており、そのために神殿に出入りする武闘僧に教えを請い、格闘術を身につけた。

